水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

議会だより

空を泳ぐこいのぼり

（相見保育所３歳児・４歳児）

□令和２年第１回定例会 ・・・・・・・・・・2
□議案に対する質疑 ・・・・・・・・・・・・3
□討論 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
□「町政を問う」一般質問（８名）・・・・・・6
□常任委員会等審議・・・・・・・・・・・・15

第60号

令和２年（2020年）

５月１日発行

石川県宝達志水町議会

令和２年第１回町議会定例会が、３月５日から13日にかけて開催され、令和２年度予算関係の議案８件、令和元年度補正予算関係の議案７件、条例関係の議案13件、契約関係の議案１件、町道関係の議案１件が可決されたほか、専決処分９件が報告されました。

最終日には、教育厚生常任委員会発委による「教職員定数改善及び教育予算拡充を求める意見書」が追加提案され、可決されました。

令和２年度当初予算額においては、一般会計で80億5,300万円、特別会計で36億6,177万円、公営企業会計で35億123万円とし、総額152億1,600万円となりました。令和元年度補正予算額においては、一般会計で２億826万円を減額補正し、総額75億9,138万円、特別会計で9,442万円を減額補正し、総額37億4,382万円、公営企業会計で1,720万円を減額補正し、総額34億2,268万円となりました。

議員別賛否の状況（賛否が分かれた議案等のみ）　○：賛成　×：反対　決：欠席

件名	結果	岩根信水	勝二正人	松浦文治	林稔	塚本勇仁	土上猛	柴田捷	守田幸則	北本俊一	金田之治	小島昌治	北信幸
議案第１号　令和２年度一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	欠	－	×	○	×	×	×
議案第２号　令和２年度国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	欠	－	○	○	×	×	○
議案第３号　令和２年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	欠	－	○	○	×	×	○
議案第４号　令和２年度介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	欠	－	○	○	×	×	○
議案第５号　令和２年度ケーブルテレビ事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	欠	－	○	○	○	×	○
議案第６号　令和２年度水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	欠	－	○	○	×	×	○
議案第７号　令和２年度下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	欠	－	○	○	×	×	○
議案第16号　宝達志水町議会の議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	欠	－	○	○	○	×	○
議案第17号　宝達志水町常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	欠	－	○	○	○	×	○
発委第１号　教職員の定数改善及び教育予算拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	欠	－	○	○	○	○	×

議案に対する質疑

守田　幸則 議員

北大海第一保育所の大規模改修について

質 改修の工事期間は。

答 ７か月を予定している。

質 工事期間中、子どもたちは相見保育所に入所するとの説明が以前あったが、その予定か。

答 北大海第一保育所の児童は、相見保育所へ入所することとしている。

質 子育て支援センターは工事期間中、休止するとのことであったが、子育て支援の充実をうたっている本町としては、矛盾しているのではないか。

答 アステラスの検診ホールを利用して、子育て支援センターを開設したいと考えている。

質 臨時駐車場整備費とあるが、場所はどこか。

答 相見保育所の入口側を一時臨時駐車場として、北大海第一保育所職員の駐車場所としたい。

質 相見保育所の周辺は、住宅が密集している地区ではない。北大海第一保育所の子どもたちも増えることから、グラウンドを狭くするより、空き地を借りて駐車場にする考えはなかったのか。

答 保育所の敷地内で設置したいと考えている。グラウンドは狭くなるが、うまく対応できるようしていきたい。

国に意見書提出へ

令和２年第１回定例会では、教育厚生常任委員会から提出された１件の意見書案が可決され、内閣総理大臣や所管大臣へ提出しました。内容は次のとおりです。

教職員定数改善及び教育予算拡充を求める意見書

提出者　教育厚生常任委員会委員長　林　　稔

小学校においては、新しい学習指導要領が令和２年度から順次実施され、小学校中学年から外国語教育を導入することや小学校におけるプログラム教育の必修化など、社会変化を見据えた新たな学びへの進化を目指すものとなっています。

しかし、学校現場では、教職員が多忙化し、子どもたちの豊かな学びを実現するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。令和２年４月からは時間外勤務の上限も法的に定められ、こういった中で、教育における新しい取組を進めながら、学校現場における複雑化多様化する課題に対応し子どもたち１人１人に寄り添ったきめ細かな教育を実践するためには、教職員定数の計画的改善による教職員の多忙化の抜本的解消が必要不可欠です。

また、OECD 調査によると、2016 年における日本の教育機関に対する公財政支出は、対 GDP 比 2.9％で、OECD 平均 4.0％を下回る状況となっています。山積する教育問題の解決を図り、少人数学級など教育環境を充実させ、学びの質を高めるといった観点からも、教職員定数の計画的改善とともに、教育予算の拡充が求められています。

よって、国におかれては、こういった現状を鑑み、子どもたちに豊かな学びを保証するために教職員定数改善計画の策定、実施と教育予算拡充を強く要望します。

当初予算の主な内容

米出バイパス等道路整備

生活道路における道路環境の改善及び交通事故の防止、交通の円滑化を図る。

３億5,500万円

北大海第一保育所 大規模改修工事を実施

保育所の老朽化に対応するため、北大海第一保育所の大規模改修工事を実施する。

１億9,642万円

駅駐車場使用料が無料に

駅駐車場の利用者の利便性向上と、ＪＲ七尾線の利用促進を図るため、月額2,000円の使用料を無料とする。

宝達高校　通学支援

宝達高校の存続と発展を支援することを目的として、通学定期券の購入経費の一部補助やスクールバスを運行する。

150万円

全国大会等出場報奨金の増額

全国大会以上の大会に出場する団体または個人に交付する報償金について、交付する金額を増額し、また対象となる交付条件を緩和する。

72万円

子育て世代包括支援センターを開設

アステラス内に子育て世代包括支援センターを開設し、子育て世代の妊娠期から出産、育児までの支援を実施する。

1,067万円

グリーンベルトを設置

通学児童などの歩行者の安全を確保するため、グリーンベルトを設置し、交通事故を防止する。

425万円

討論！

小島　昌治 議員

30議案中9議案に反対

ごみの減量化計画のない焼却炉購入は税金の無駄

他市で、当初70億円の焼却炉購入予定を、ごみの減量化計画を住民と作成し、8億円の焼却炉で済ますことができた事例がある。新たな焼却炉購入に際して、何の準備もできていない予算だ。環境問題の視点も加え、今から住民の知恵を引き出すことができる体制を急いで作るべきだ。

コロナ等の影響から町民の暮らし守る調査費がない

消費税の10％増税に加え、コロナウイルスの影響で町民生活に大きな影響が出ている。こういうときに町民への影響調査を行い、その結果に応じた国や県への要望活動とともに、町独自の施策の実施が求められている。また、税務課職員を増やして町民に寄り添った納税相談が行われることが求められている。これらに全く対応しない予算だ。

町民の安全を守る防災計画と避難計画の作成の予算を

昨年の台風19号の関東信越地方の河川の浸水被害は想定をはるかに超えていた。宝達志水町内を流れる13本の県管理の二級河川の新しい浸水想定を行うよう県に要請し、それに基づくハザードマップの作成と防災・避難計画の策定を急ぐべき。これが全くできていない。

無駄な建設・土木工事をやめること

狭い町道が走る米出区の渋滞解消を目的に作られる米出バイパスだが、道幅の広い能登カントリーの前の道を利用し、道路法に基づいた町道の通行規制をすれば米出の道路は大幅に交通量を減らすことができる。3億2千万円の無駄使いをしなくて済む。

町民に約束した事は実行を

旧押水図書館の廃止説明で町は「宝達中学校図書館の利用」を約束した。ところが建設するやいなや、「中学生の安全」を理由に町民の利用を中止した。それどころか、中学生の安全を守りながら町民が利用できる協議の場を設けた形跡すらない。

また、寶達町長は町長選挙の時に「高くした下水道料金を元に戻す」と各集落の会館で言いまわったはず。今では財源は十分にあるから、この約束を履行することを強く求める。

他の保険より1.6倍高い国民健康保険税の引き下げを

サラリーマンを辞めて所得が減り、国民健康保険に加入するが、その保険税はサラリーマンよりかなり高額。2億6千万円の国民健康保険の基金を利用して引き下げすべき。子どもにかかる均等割りをやめるべき。

介護利用料金の減額免除を

安心して介護保険の利用をしてもらうために、他の市町村も実施している利用料金の減額・免除制度の創設を一刻も早く。以下省略

北　信幸 議員

令和2年度一般会計予算民生費について反対

北大海第一保育所の大規模改修が約2億円の予算で計画されている。出生率が1.7人と言われる中、半世紀も経過した建築物に、2億円もの改修予算をかけるのか。

2億円で改修するのではなく、5億円かかってでもその地域の思いの場所に新しい保育所の建設をしてほしいという思いで私は、2億円の改修予算について反対する。

以前執行部は、宝達志水病院の隣に中央保育所の新築移転を表明されたが、石川県の調査によると千年に一度の大雨による災害が生じるかもしれないということで、あえて新築移転を取りやめた。

私は、もっと高台に新築移転するのかと期待していた。

議員協議会の資料では、中央保育所の改修工事に、4億数千万円もの費用がかかることが明記されていた。

町長は就任当時から、もったいないが口癖だが、なぜ耐用年数を過ぎた古いものに2億あるいは4億かけて改修をするのか。

災害はいつ起こるかわからない。千年に一度は、再来年かもしれない。そういう水害がある危険な場所になぜ、多大なお金をかけて改修しないといけないのか。

北大海第一保育所においても、駐車場もない道路の間際ではなく、その地区に必要ならば、安全な場所、ゆったりした場所に保育所を、そして、旧押水の児童が160名、あるいは管外から教育、環境がいいと言われて入所してくれるような教育の場所をぜひ作っていただきたい。

末長い町民の幸せを考え、今後、一日も早く快適な場所に作っていただくためにも、再度また、検討し直し、予算措置をしていただきたく、反対討論とする。

町政を問う

議員８人が一般質問

一般質問とは、議員が町政全般にわたって、町長などの執行機関に対して事務の執行状況や将来の方針などについて質問し、説明・報告を求めるものです。

ページ

■松浦　文治　議員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
・宝達山に仮設の休憩施設を
・プログラミング教育の方針は
（その他の質問）認知症関連事故救済制度の導入を

■岩根　信水　議員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
・放課後児童クラブの利用料減額を
・光ファイバー回線の利用可能世帯率は

■守田　幸則　議員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
・新型コロナウイルスへの対策・保育士の処遇改善を
・まち・ひと・しごと創生総合戦略の今後は
（その他の質問）豪雨災害に備えた十分な災害対策を
上水道施設の老朽化等における今後の取組方針は

■塚本　勇仁　議員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
・空き町有地の有効活用を
・中央保育所の早期改修を求める

■勝二　正人　議員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
・ゴルフ場利用税交付金をゴルフ競技の事業で利用を
・新型コロナウイルス感染症の今後の対策は

■林　　稔　議員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
・宝達志水町に児童遊戯施設を
・埋蔵文化財センターを利用せよ

■金田　之治　議員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
・保育所整備の公平な運用を
・下水道事業の現状について町民に丁寧な説明を

■小島　昌治　議員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
・変形労働時間制を採用するな
・町民参加のごみ処理計画作りを
（その他の質問）新型コロナウイルス感染対策における宝達志水病院の役割は

一般質問「町政を問う」（町政全般にわたる質問）

松浦　文治議員

宝達山に仮設の休憩施設を

設置を検討したい

問　松浦議員

宝達山の頂上付近にある休憩施設「山の龍宮城」は、建物の基礎部分が損壊しており、移転新築に向け現在、閉鎖している。宝達山利用者の休憩施設である山の龍宮城は、宝達山の交流の拠点でもあり、休憩施設がないというのは、町内外の宝達山利用者に対して不適切ではないか。

山の龍宮城が復旧するまでの間、簡単なものでも、仮設の休憩施設を設けるべきと考えるがいかがか。

答　齋達町長

宝達山には年間約１万人が訪れており、およそ２年間、休憩施設がない状態が続くと来訪者に不便をかけ、宝達山のイメージダウンにつながることも想定されるので、仮設の休憩施設の設置を検討したい。

問　松浦議員

宝達山の歴史的な価値について、町の子どもたちに認識してもらうことが、宝達志水町へのふるさと愛や自分の住んでいる町への誇りにつながることになるかと思うが、教育委員会としては、これまでどういった取組をしてきたのか。そして、町の子どもたちに、宝達山の魅力を再認識してもらうような取組について、これから強化していくべきと考えるがいかがか。

答　齋達町長

現在、地元小学生を対象としたブナの種子採取と育苗体験において、自然と触れ合う機会を創出するとともに、森林の持つ多面的機能についての教育を行っている。

また、宝達山に長距離を移動して飛来するチョウ、アサギマダラに関する活動が愛好者の協力により実施されている。

こうした活動に対し、アフターフォローも含めて着実な成果を目指して支援していきたい。

▲水と緑に恵まれた宝達山

プログラミング教育の方針は

教員一人一人の指導力向上を

問　松浦議員

令和２年度からプログラミング教育が小学校で必修化されるところである。本町のプログラミング教育について、２つの小学校で既にタブレットを使用して試行的に行っていると聞いているが、その学習指導結果を踏まえて、来年度からどのような形で教育を進めていく方針か。また、学習環境の向上策は。

答　北山教育長

小学校全学年に算数、理科、そして、５、６年生には社会のデジタル教科書を入れる予定である。そのほか、ＩＣＴ支援員の派遣や教員同士の情報交換の場を設け、町内小学校のプログラミング教育に対する教員の理解を深め、教員一人一人の指導力向上と児童のプログラミング的思考能力の向上を目指していきたい。

また、令和２年度においては、各学校に高速大容量通信ネットワークを整備し、教育環境の充実図っていきたい。

一般質問

「町政を問う」

（町政全般にわたる質問）

岩根　信水議員

放課後児童クラブの利用料減額を

子育て世代のため今後検討する

問　岩根議員

本町の放課後児童クラブの利用料は月額七千円、８月のみ一万円となっている。また、所得に応じて第二子以降は無料となっている。

共働き世帯が多い若い夫婦にとっては子どもを安心して預けられる場所が必要である。その選択肢として放課後児童クラブは有力な候補である。

近隣自治体と比較して、本町の放課後児童クラブの利用料は若干ではあるが高いようである。子育て世代の経済的負担を軽減し、本町の子育て支援を前面に出すため、利用料を減額するべきであると思うがどうか。

答　寶達町長

放課後児童クラブに要する経費は業務委託料の見直し等により増額しており、利用料の増額も検討したが、子育て家庭への支援の観点から、現在の利用料を維持したところである。

利用料については子育て世代の経済負担軽減の観点から検討していく。

▲しお児童クラブ

光ファイバー回線の利用可能世帯率は

県平均は超えている

▲光ファイバーケーブル

問　岩根議員

来年度より第五世代移動通信システム（５Ｇ）の運用が本格的に始まる。

第二次総合計画に５Ｇを活用した新規事業を２０２９年度までに３件実施することが盛り込まれたと聞いている。５Ｇ通信の基地局（親局～子局）間では光ファイバー回線のインフラが必須である。全国の利用可能世帯率が98％以上に対して本町はどの程度なのかを教えていただきたい。

また、本町において５Ｇを活用した事業の構想などがあればお聞かせ願いたい。

答　寶達町長

５Ｇは、「超高速」「超低遅延」「多数同時接続」が特徴であり、新たな経済・社会的効果を生み出すと期待されている。不確定な部分もあるが、今後情報収集に努める。

本町の光ファイバー回線の利用可能世帯率は、総務省北陸総合通信局から県平均は超えているとの回答を受けている。なお、今後の整備については、国の補助事業などもあることから、動向を注視していく。

５Ｇを活用した事業は不確定であるが、観光振興や除雪車運行支援、スマート農業での支援策などの可能性を検討していきたい。

一般質問

「町政を問う」

（町政全般にわたる質問）

守田　幸則議員

新型コロナウイルスへの対策は

チラシの配布、消毒液の設置などを行った

保育士の処遇改善を

協議を重ね、改善に努めたい

問　守田議員

本町の今日までの新型コロナウイルス感染症への対策と対応は。

宝達志水病院ではマスク、消毒液の備蓄は有るのか。また、学校が休校となり共働き家庭等児童を見られない保護者への対策や感染者が発生した場合の対策は。

答　寶達町長

町ホームページなどに情報を掲示したほか、各家庭に予防対策チラシを配布した。また、役場など公共施設に消毒液を設置した。放課後児童クラブでは、午前中から受入れを行っている。また、感染者が町内に発生した場合は2週間をめどに休止とする。

答　濱中病院事務局長

病院スタッフのマスク、消毒用アルコールは確保できている。

問　守田議員

宝達志水病院での患者の受入れ場所は。

答　濱中病院事務局長

病院正面から左側エリアにパーティションで区切り、診察、検体採取などを行う。

問　守田議員

認定こども園となり、保育ニーズの高まり、保育サービスの提供と保育士確保が重要になるが、幼稚園教諭免許等の取得、更新講習に対する補助金や保育士をめざす為の奨学金制度の考えは。また、自分の子どもの行事に参加できる体制づくりや給与の違いの改善を。

答　寶達町長

指定管理者である社会福祉協議会で雇用後の給与の調整を行っている。令和2年度当初予算には、新たに所長となる保育士に所長手当を支給する予算措置を行っている。また、所長会議には町職員、社会福祉協議会職員も出席し、情報、意見交換を行い、協議を重ねながら保育士の処遇改善に努めていきたい。

問　守田議員

保育士の確保につながる対策は。

答　寶達町長

奨学金について、需要や内容を調査し検討していきたい。

まち・ひと・しごと 創生総合戦略の今後は

関心を持ってもらえる 取組を増やす

問　守田議員

創生総合戦略は、人口減少対策であり、出生数と町の今後のありようを問う。

老朽化した保育所の多額大規模改修の必要性とその効果を問う。

「関係人口」の拡大の取組についての考えは。

答　寶達町長

4つの基本目標の実現のために、効果的な取組の方向性や具体的な施策を定めるとともに、国が示す地方へのひと・資金の流れを強化するなど、6つのあらたな視点を踏まえ、活力あるまちづくりを推進していく。

また、子どもの数と小学校の統廃合、また保育所のこれからの運営について、近い保育所に通えることが望ましく、できるだけ良い保育環境をつくり、4つの保育所を残し、そのために必要な改修等は実施していく。

また、出生数の今後の推移によって小学校統廃合を再度考えると、これからの2年間で様子を見る、またそれに当たっても十分な手だてを講じた上で取組んでいきたい。

関係人口の創出も大切な取組として行っていきたい。ふるさと納税では返礼品を返すだけでなく、昨年実施した「魅力いっぱいフェア」など今後の交流の案内をするなど、町のことに関心を持ってもらえるような取組を増やしていきたいと考えている。

一般質問

「町政を問う」

（町政全般にわたる質問）

塚本　勇仁　議員

空き町有地の有効活用を

企業誘致や宅地造成などに幅広く検討していく

問　塚本議員

企業誘致や定住促進のための宅地造成について問う。

宝達志水病院の隣接地、旧志雄病院跡地、今浜東部用地の空き地、空き家になっている志雄地区の町営住宅、そのほか造成が必要と思われるような町有地の有効活用について、どのようにお考えか。

答　齊達町長

御指摘の町有地は、企業誘致や宅地造成、子どもたちの遊び場や町民憩いの空間などとして幅広く検討していきたいと考えている。

その中で、宅地造成については総合計画及び総合戦略においても重点施策として位置づけており、令和２年度に通勤・通学の利便性やライフラインの整備状況などを踏まえて適地を選定するための住宅団地適地調査を行う予定としている。

その結果を踏まえ、良好な住環境の整備のために町有地の活用を検討する。

▲志雄病院跡地

中央保育所の早期改修を求める

早急に整備構想を決定し検討していく

▲中央保育所園庭

問　塚本議員

中央保育所の整備の基本構想案について、どのように検討されているのか。

良好な保育環境をつくるために保育所改修に合わせて雑草が繁茂している園庭の整備や老朽化した遊具の取替えも行うべきと考えるがいかがか。

また、本園は石川県ハザードマップによると浸水想定地域となっているが、避難路や避難方法をどのように考えているのか。

答　齊達町長

整備基本構想案を作成するに当たり、詳細な耐震診断を行った結果、耐震基準を満たしていない箇所のあることが判明したので、耐震補強あるいは一部建て替えについて構想案を基に検討し、整備構想を決めたいと考えている。

また、保育所の改修に合わせた外構や遊具等の施設整備についても検討していく。

避難路の確保については、作成中のハザードマップを基に避難計画を見直す中で安全な手段を検討していく。

中央保育所の改修内容については、整備基本構想案を基に早急に決定し、令和２年度補正予算の提出も視野に進めていきたい。

一般質問「町政を問う」（町政全般にわたる質問）

勝二　正人議員

ゴルフ場利用税交付金をゴルフ競技の事業で利用を

町ゴルフ協会と検討する

問　勝二議員

ゴルフ場利用税とは、ゴルフ場を利用する人がゴルフ場を所有する都道府県に支払う地方税のひとつである。ゴルフ場利用税は、納められた利用税のうち、10分の7に相当する金額がゴルフ場のある市町村に交付されている。石川県では利用者一人につき一日550円～1，150円となっている。本町にもゴルフ場があり、町の貴重な財源となっている。

近年、ゴルフ場の利用者数と交付金の推移がどのようになっているのか。

また、交付金を競技の振興に関する事業へ支出するなどの利用法も検討されてはいかがか。

答　寶達町長

ゴルフ場利用税交付金の利用法について、数年後に町内で大きな大会が行われる予定であり、ゴルフへの関心が高まってくることも考えられることから、町ゴルフ協会の意見を聞いて検討していきたい。

答　村井参事兼財政課長

利用者数は5万4，000人から6万3，000人の間で、交付金は2，300万円から2，900万円の間で推移している。

新型コロナウイルス感染症の今後の対策は

国・県の計画に基づき、行動計画を作成する

問　勝二議員

先日、県内にも感染者が確認されたが、**今後の町としての新型コロナウイルス対策をお聞きする。**

初動を早くするための事前準備や取りかかるタイミング、以前に町行政として感染症を対応した事例はあるのか、あるのならばそのときの取組は生かせているのか、そして、今般の新型コロナウイルス対策は何らかのマニュアルに基づいたものなのか、今後のためにも町の防災計画の指揮系統や業務分担を定め、感染症対策に関する取り決めを明確にする必要があると考えるがいかがか。

答　寶達町長

1月27日に第一報として、町ホームページなどに提示し、新型コロナウイルスの最新情報が更新されるようにしている。タイミング的には遅くない対応であったと認識している。2009年に対応した新型インフルエンザでは、既に治療薬があり予防接種ができる感染症であったため、法律に基づき対応した。

しかし、今回の対応は、現段階では治療方法も予防接種も確立されておらず、感染症法における予防計画についても、県が作成することとなっているため、今般の新型コロナウイルス感染症に関する町としてのマニュアルはない。

今後、新たな法律が決定した場合は、国・県の計画に基づき、新型コロナウイルス感染症対策行動計画を作成する予定である。

一般質問「町政を問う」（町政全般にわたる質問）

林　　稔 議員

宝達志水町に児童遊戯施設を

令和三年度から取組んでいきたい

問　林　議員

児童遊戯施設について、施設整備の背景と、施設の概要と建設予定地、設置時期について問う。

答　寶達町長

宝達志水町には、屋外では宝達志水スポーツセンターの多目的運動広場、宝達志水総合体育館の多目的グラウンド、白虎山運動公園、ネクサスの山村広場等がある。

屋内では、さくらドーム21、宝達志水総合体育館があるが、子どもが伸び伸びと遊べる場がないため、梅雨や冬季期間は遊び場が限られている。

また、第二次町総合計画や第二期町総合戦略の策定の中での意見や、子ども・子育て支援事業について提言をいただく場である子ども・子育て会議の中でも、委員から親子で遊べる屋内施設が町内に無く、他市町の親子向け施設に出かけている、魅力的な屋内施設が町内にあればとても嬉しい、との意見をいただいている。

また、施設が本町の子ども・子育ての象徴となるほどの魅力あふれるものになれば、町のＰＲや活性化につながると考えている。

以上のことから、子どもたちの悪天候時の遊び場や親子連れスポットの整備は本町の児童福祉の向上に大いに資することと考え、屋内施設を備えた児童遊戯施設の整備を行いたいと考えている。

建設予定地、設置時期については未定であるが、できるだけ既存施設の活用を図って行きたいと考えている。

今年度、構想をまとめ、議会に報告し、令和三年度から取り組んでいきたいと考えている。

◀昨年、視察で訪れた山形県高畠町にある屋内遊戯場「もっくる」

埋蔵文化財センターを利用せよ

新たな企画を実施したい

▲埋蔵文化財センター

問　林　議員

埋蔵文化財センターが、町民が町の歴史について興味深く学べる場となるよう、また、多くの来館者が得られるよう展示や事業に工夫が必要と考えるがどのようにされるか問う。

答　寶達町長

町民や町外からの来訪者の歴史学習の場としては、文化庁からの国庫補助を受けた施設として、文化財保護法に定められた目的の達成のため、発掘出土品の公開、活用を図り、施設の運営を行っていく。

今後、生涯学習課との連携事業、公民館との歴史学習授業、勾玉作りなどの体験講座、石川県埋蔵文化財センター事業との連携も行うほか、地域の特徴を生かした既存の概念にとらわれない新たな企画も実施したいと考えている。

一般質問

「町政を問う」

（町政全般にわたる質問）

金田　之治議員

保育所整備の公平な運用を

準備が整い次第、進めていく

問　金田議員

北大海第一保育所には、本年度予算で2億円近くの改修費が予算化されているが、一方、中央保育所には0円である。どちらも同じぐらいの年数が経過しており、お互いに分け隔てなく公平に運用するのが当然だと思う。

そういった中で、片一方は2億円の改修費、片一方はゼロ、こんなことが許されてはならない。町民も納得しない。町長の考えを問う。

答　寶達町長

中央保育所については現在、整備構想案の策定を行っている。整備構想案が完成し、方針がまとまり次第、事業に取組んでいきたいと考えている。

当初予算案では今のところゼロとなっているが、まとまり次第、予算をつけたい。

問　金田議員

構想ではなく、来年度中には補正予算対応で実施設計、入札まですべきだと思うがいかがか。

答　寶達町長

現在、まだ工事などの予算をつける段階ではないため0円である。準備が整えば、補正予算などの早い対応をできるようにしていきたい。

問　金田議員

来年度中の対応をお願いしているのである。準備が整い次第というと、再来年対応ということも考えられるがいかがか。

答　寶達町長

工期や運営体制、保育所行事なども年を通じてあるため、現場ともよく協議し、御提言も考慮に入れ考えていきたい。

▲整備構想案を策定中の中央保育所

下水道事業の現状について　町民に丁寧な説明を

十分な理解が得られるよう　情報発信していく

問　金田議員

下水道料金は500円の値下げがあり、2,500万円近くの収入が減っている。

町長は過去3年間、下水道料金の値下げを始め、いろいろな施策をしてきたと思うが、その効果はほとんど皆無としか取れない。下水道料金にすれば、料金体系から見直し、町民に協力していただき、子どもや孫に過大な負担が残らないようにするのが我々の責務であると感じている。町長の考えは。

答　寶達町長

下水道使用料は、値下げにより減収となったが、使用者の負担軽減につながっている。今後の対策としては、維持管理費の削減を図るため、処理区の統廃合を実施する。

問　金田議員

負担が楽になった分、収入不足で維持管理費などを税金から投入することを、町民に理解してもらえるよう丁寧な説明を行っているのか。

答　寶達町長

一般会計からの繰入れを行っているが、全体のバランス、将来の見通しを考えながらやっていきたい。また、町民の方にも十分理解いただけるよう情報発信をしていきたい。

小島　昌治議員

変形労働時間制を採用するな

変形労働制は時間短縮にならない

問　小島議員

学校教員の学期中の労働時間をさらに引き延ばすことにつながる「一年単位の変形労働時間制」（国の法改正による）を採用するかどうかの判断は市町村の教育委員会である。国会の議事録を調べると、「一年単位の変形労働時間制」の採用には「学校のみんなが嫌だというものを強制できない」「市町村の判断で採用しないこともある」と文部科学大臣が発言しているからである。そして、何よりもこの制度を採用するには２つの条件が必要である。

一つは、「教員に恒常的な残業がないこと」

二つには、教員の時間外労働の上限を月45時間、年３６０時間としたガイドラインが守られていることが条件である。

更なる教員の労働時間延長につながる、制度の採用はするべきでないし、できないと思うがいかがか。

答　北山教育長

「学校における働き方改革」の達成ができていないので、変形労働制は採用できない。

町民参加のごみ処理計画作りを

今後も羽咋郡市広域圏で行う

◀石川北部ＲＤＦセンター

▶クリンクルはくい

問　小島議員

一般ごみの処理方式は、約20年前に石川県が強引に能登地域に押しつけた大型焼却炉によるＲＤＦ処理方法である。だから、数年後のこの焼却炉の解体と処理の費用はせめて石川県が支出するのが筋だと考える。

今ではこの方式は全国ではほとんど採用されていない。それは各自治体が進めているごみの減量化に逆らってまでごみを集めなければならない事態を招くからである。

一方、石川県が能登地域に強引に押しつけた同じ時期に、当時の人口２万４千人の埼玉県大井町（いまは合併してふじみ野市・人口11万２千人）で住民と行政が徹底したごみの分別と減量化を議論し、約70億円の大型焼却炉購入計画を８億２千万円の小型焼却炉購入に計画変更し、経費の削減とごみの減量化が行われた。住民の知恵を結集し、住民の協力のもと、膝を突き合わせて議論を行えば成果が出る。この教訓を生かすには広域行政でなく、責任を持てる一自治体での体制が重要であるが、いかがか。

答　齊達町長

国が推進するごみ処理の広域化による持続可能な体制の呼応地区として、今後も羽咋郡市広域圏事務組合の計画のとおり広域処理していくこととする。

会期中の常任委員会等審議

病院運営特別委員会（３月６日）

最初に、西澤宝達志水病院院長より「コロナウイルスとその対応について」と題したレクチャーを受けて委員会が始まった。

問 今後、「一般病床を減らす代わりに、地域包括ケア病床を増やす」構想を病院側は持っているようだが、それはどういうことなのか。

答 宝達志水病院の現在の病床の稼働率は92％を超えており、県内でも非常に高い利用率である。ただ、今後の高齢化率や人口動態も含め、地域に見合った病床は何かを考えながら病床を見直す必要を指摘された。現在８病床を20病床へと考えている。

問 地域包括ケア病床とは何か、どんな機能を持っているか。欠点は。

答 大雑把に言って、利点は高齢者の方が最長で60日間の入院ができること。欠点は、一般病床は一日約３万５千円が病院の収入になるが、地域包括ケア病床は２万６千円から３万円である。

問 病院の収入が減るということか。

答 最も必要とされている地域包括ケア病床であり、そのベッドの利用率を上げることによって対応していきたい。

問 コロナウイルス問題について、熱が出たからといってすぐに病院へ行くのはだめなのか。

答 ２、３日様子を見て熱がひかないようなら、七尾にある能登中部保健所に連絡して、その指示に従ってほしい。ほとんどの病院ではコロナウイルスの検査はできない。

【連絡先】
能登中部保健福祉センター
☎０７６７－５３－２４８２

問 宝達志水病院の医師の確保をどうするか。これまでなら病院の院長と事務局長に任せきりだったが、医学部の研修制度が変わった今ではそれでは追い付かない。先を見据えて、医師確保のための人員配置と予算付けを行えと再三、議会から進言しているはずだが、いかがか。

答 （町長）病院運営特別委員会が発行した視察資料を参考にして、必要ならば医師確保の手段を講じなければならないと考えている。

病院運営特別委員会から町行政と病院への付帯決議

・医師の確保について行政は予算措置を含め、しっかり取り組まれたい。
・引き続き信頼される病院運営に努められたい。

以上２点の付帯決議を行い病院運営特別委員会を終了した。

教育厚生常任委員会（３月９日）

問 以前実施した保育所の施設設備に係る調査に基づいて、改修計画を立て修繕を行っているのか。

答 北大海第一保育所と中央保育所は全面的な改修を行い、相見保育所と南部保育所は、修繕の要望に応えていく形で対応したい。

問 中央保育所を同規模で新築するならば、費用はどれだけかかるのか。

答 ５億円以上かかる。新築する場所によっては、造成費などもかかる。

問 英語教科において、小中学校にＡＬＴが２名体制で十分なのか。

答 来年度から小学校において英語が教科化されることから、足りないようなら、将来ＡＬＴを増員することも考えている。

問 宝達高校のスクールバスの運行について、新たにバスを購入するのか。

答 以前購入したスクールバスが１台あり、宝達高校のみの運行とする。

問 新型コロナウイルス感染症により３月から臨時休校となったが、学校は子どもたちの行動を把握しているのか。

答 子どもたちは自習を行い、分からないところがあれば電話や家庭訪問を行い学習している。

問 臨時休校中の給食費の取り扱いは。

答 ３月分の給食費は徴収しないこととし、後に精算する。

問 中学校図書室の開放について、生徒の時間帯を配慮して住民が利用できるように考えてほしい。

▲教育厚生常任委員会の様子

答 2階に図書室があるため警備の問題や、利用人数が少ないことから取りやめとなり、現在は考えていない。

問 押水図書館の代わりに学校図書館として立ち上げたが、利用できる方策を示してほしい。

答 さくらドームにある図書館や移動図書館を利用してほしい。

問 宝浪漫マラソン事業費に時間外手当が計上されているのはなぜか。

答 宝浪漫マラソン業務を依頼した関係課への時間外手当を集約したものである。

問 宝浪漫マラソン事業での町職員の業務の関わりかたはどのようなものか。

答 一般的な業務のほか、走路の道路管理や救護支援など町職員でしかできない業務を行っている。

問 宝たちビジネスアカデミーは、町商工会と連携するとのことであったが、どの程度、話が進んでいるのか。

答 令和2年度も引き続き、準備や文化祭での実践販売などを町商工会に再度依頼したい。

問 図書館システムが更新され、新システムでは過去に借りた本が確認できなくなったと聞いたが、前のシステムのように貸出実績が分かるようにできないか。

答 新システムでは、個人で読書履歴を管理するようになったため、Ｗｅｂ上でＭｙ本棚や、シールに印刷して読書日記に残していくサービスを行っている。

問 文化財保護管理の委託料で、草刈りの範囲はどこまでか。また、予算額の増額はなぜか。

答 臼が峰往来、末森城跡、御舘館跡、散田金谷古墳など、訪問者の要望もあり、年2回の除草から、年3回に増やした。

問 コンビニ交付件数は増えているのか。また、委託料が増えているがその内容は。

答 当初月20件前後だったが、現在は多い時で約50件と増加している。来年度は、印鑑登録証明書の旧姓併記対応システムの改修費で増額となっている。

総務産業建設常任委員会（3月11日）

問 過疎債の活用について

答 北大海第一保育所改修事業に9千万円あまり、道路改良事業に1億2千万円あまり、広域圏の負担金にも羽咋市と連携し活用している。

問 各種団体等への補助金について、増額となる基準は。

答 第3次行財政改革大綱により、2割から3割の削減を行っている。個々の団体については担当課が内容等を精査し要求しており、それに基づき、団体の予算状況、活動内容等も加味しながら決めている。

問 イノシシの埋設は、豚コレラの影響で埋設が必要となったのか。捕獲したイノシシを全て埋設することは、不可能ではないか。

答 豚コレラの検体としたイノシシは埋設することが基本である。今後、埋設地の確保も難しい状況であることから、将来的には捕獲したイノシシの処分施設が必要と考えている。

問 イノシシの埋設の受入れは、検体を行った個体のみか。

答 基本は検体を行った個体の受入れであるが、捕獲者の埋設に要する負担軽減も考え、柔軟に受入れしていきたい。

▲わなにかかったイノシシ

問 黒イチジクのネーミングを募集するとのことだが、今後の展開は。町がすべてを行うのではなく、ＪＡ・生産者と連携して取組んでいただきたい。

答 新年度予算が成立次第、取りかかりたい。

問 古い町営住宅の改修は考えているのか。

答 荻市団地、細見団地は建物も古く、新たな募集も行っておらず、大規模な改修は考えていない。

問 旧志雄町のときは「桜の里」とうたい、白虎山公園、古墳公園、やわらぎの郷など桜を見に訪れる人が多くいたが、現在は桜の樹勢が弱っており管理をしっかりしてほしい。

答 桜の木に限らず枝打ちなどの管理をしている。状況を把握したうえで定期的な管理が行えるよう予算要求していきたい。

問 今冬は、全く除雪作業はなかったが委託業者へ何らか

の対策は考えているか。

答 契約業者には、固定費を支払っているため、現時点では考えていない。

問 ふるさと納税とふるさと会の関係について。

答 今年度のふるさと納税額は、昨年度より減少となる見込である。関東ふるさと会の会員には、ふるさと納税や物産フェアのＰＲの協力をお願いしている。今後、関西、中京のふるさと会を立ち上げ、ふるさと納税額の増加に努めていく。

問 観光ＤＭＯについて。

答 地域資源を組合せ、いろいろなデータを分析していくことなど、一連の取組を主体的に行う団体を設立し、町の活性化につなげていく。

問 地域おこし協力隊の主な活動内容は。

答 現在３名が、移住定住の情報発信、オムライスによる町おこし、鳥獣対策関係で活動している。オムライスによる町おこしの協力隊員については、今年度をもって退職する。今年度、オムライス関係で１人応募があり、採用の方向で進めている。

特別委員会審議

ふるさと人口対策特別委員会（２月18日）

問 町定住促進協議会で紹介している物件は、空き家だけなのか。

答 空き家バンクに登録されている物件のほかに、町外の不動産会社が扱っている物件も紹介している。

問 空き家バンクの登録数は。

答 現在の登録数は、賃貸で５軒、売買で14軒の合わせて19軒の登録がある。

問 空き家の改修費用にかかる町からの補助金は。

答 町内業者の利用で上限１００万円、転入者には１人につき20万円の加算がある。

問 移住イベントには、町職員が対応しているのか。

答 イベントによっては町で対応している場合もあるが、基本的には定住促進協議会で対応している。また、空き家バンクの利用希望者への現地での案内も対応している。

問 空き家バンクの登録件数は19軒だが、町内に空き家は何軒あるのか。

答 危険な建物も含め、平成30年度の調査で３９０軒あった。

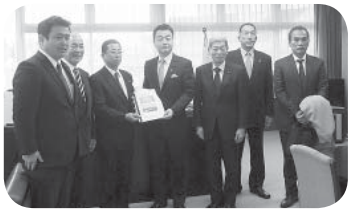
問 実際に移住された人が、その集落になじむことができるようサポートが必要ではないか。

答 地域のルールを最低限つたえられるようなものがあればと考えている。また、その地域に詳しい区長などが受皿となって、地域のことを紹介していくことができればと考えている。

佐々木国土交通大臣政務官に要望書を提出

１月21日から22日にかけて議会運営委員会は西田昭二衆議院議員を伴い３項目にわたり、佐々木国土交通大臣政務官に要望を行ないました。要望では、国土交通省の職員も同席する中、国道159号羽咋道路未事業区間の早期事業化、大海川橋の拡幅、押水羽咋海岸の浸食対策について図面や現状写真を使って窮状を訴えてきました。

また、これとは別に病院の再編で宝達志水病院が名指しされた件に関し、関係大臣に「地域の実情を踏まえた地域医療構想の推進を求める意見書」を提出してある旨も報告したほか、厚生労働省職員と病院の存続に向けた今後の方向性などについて話し合いをし、本町にとってなくてはならない病院であると訴えてきました。



▲佐々木政務官へ要望書を提出

65歳以上の障害を持つ人に朗報

現在の心身障害者医療費助成制度では、65歳未満の障害がある人の医療費の窓口負担は無料となっていますが、65歳以上になると、窓口でいったん支払い、後で払戻しを受けるという方式になっています。

しかし石川県では、高齢対象者への利便性の向上を図るため、心身障害者医療費助成制度の石川県補助金要綱を改正することとしており、これにより、令和２年10月から、65歳以上でも窓口負担を無料とすることとしました。

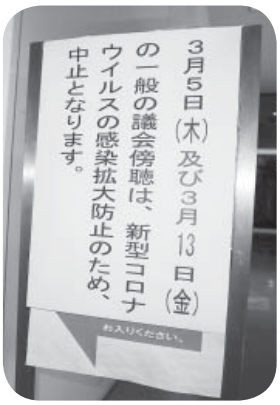
本町でも、石川県に準じて進めていくとの発言が、教育厚生常任委員会でありました。

新型コロナウイルス感染対策で議会傍聴を中止

今回の新型コロナウイルスは、中国に端を発し日本にもじわじわと増え始め、ついには２月21日に石川県内で初めて感染者が発生しました。対岸の火事だと思っていたことが身近に迫り、目に見えない恐怖と現実にどこまで感染が広がっているのか不安な状況の中で３月議会定例会を迎えようとしていました。当初は、消毒液の配置やマスクの着用を義務づけし、受け入れる予定としていましたが、これまでの傍聴者は比較的高齢者が多く、住民の安心と安全のため感染防止を最優先としました。

本町ではケーブルテレビで録画中継を行なっていますが、住民全員が見れるわけではないことは承知しています。もちろん地方自治法では、議会の公開の原則をうたってはいますが、何よりも命を守ることが先決で他の議員からも異論が出ませんでした。

今後については、県内の感染状況を見ながらその都度、判断していきたいと考えています。



▲傍聴を中止とする案内看板

お知らせ　６月定例会本会議の日程

令和２年第２回町議会定例会

〔開会〕６月11日（木）午前10時　　〔再開〕６月19日（金）午後２時

※会議の都合により、開催時間が遅れる場合があります。
※新型コロナウイルス感染防止のため、傍聴を中止とすることがあります。

◎傍聴のご案内

議会では予算や条例をはじめ、町のさまざまな案件を議論し、採決が行われます。傍聴は、町議会の活動にふれることのできる身近な方法ですので、ぜひお越しください。

■定員　21名
■受付　会議当日、午前８時30分から議会事務局（庁舎３階）で受付いたします。
■手続　傍聴受付票にご自分の住所、氏名、年齢を記入し、傍聴券の交付を受け傍聴席へお入りください。

令和２年５月１日　発行
■発行　宝達志水町議会
責任者／議長　柴田　捷
〒929-1492　石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1
TEL(0767)29-8310（直通）／ FAX(0767)29-4623
E-mail　gikai@town.hodatsushimizu.lg.jp
■編集責任者／塚本　勇仁

●議会だよりへのご意見、ご感想がありましたら、電話、ＦＡＸ、Ｅメールなどでお寄せください。

広報編集特別委員会
委員長　塚本　勇仁
副委員長　小島　昌治
委員　守田　幸則
委員　土上　猛
委員　林　稔

この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会
この広報は高精細340線で印刷したものです。